

朝鮮教育令

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

大正十年十二月八日

内閣總理大臣子爵高橋是清



勅令第

號

朝鮮教育令

第一條

朝鮮

ニ於ケル

教育ハ

本令ニ依

ル

第二條

内地人ノ

普通教育ハ

小學校令

ニ依ル

但シ

中學校令

及高等女學校令

ニ依ル

但シ

朝鮮

ニ

此等ノ

勅令

中文部大臣ノ

職務ハ

朝鮮

ニ

總督之ヲ

行フ

前項ノ

場合ニ

於テ

朝鮮特殊ノ

事情ニ

依リ

特例ヲ

設クル

必要アル

モノニ

付

ル

テハ朝鮮總督別段ノ定ヲ爲スコトヲ
得

第三條 朝鮮人ニ普通教育ヲ爲ス學校
ハ普通學校高等普通學校及女子高等
普通學校トス

第四條 普通學校ハ兒童ノ身體ノ發達
ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ生活ニ必
須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民タ
ルノ性格ヲ涵養シ國語ヲ習得セシム
ルコトヲ目的トス

第五條 普通學校ノ修業年限ハ六年ト
ス但シ土地ノ情況ニ依リ五年又ハ四
年ト爲スコトヲ得

普通學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ
年齡六年以上ノ者トス

修業年限六年ノ普通學校ニ修業年限
二年ノ高等科ヲ置クコトヲ得

高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修
業年限六年ノ普通學校ヲ卒業シタル
者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之

ト同等以上ノ學力アリト認メラレタ
ル者トス

普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得
補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シ
テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル
第六條 高等普通學校ハ生徒ノ身體ノ
發達ニ留意シテ之ニ德育ヲ施シ男子
ニ有用ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國
民タルノ性格ヲ養成シ國語ニ熟達セ
シムルコトヲ目的トス

第七條 高等普通學校ノ修業年限ハ五
年トス

高等普通學校ニ入學スルコトヲ得ル
者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ卒業
シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ
依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メ
ラレタル者トス

高等普通學校ニ補習科ヲ置クコトヲ
得
補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シ

テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル
第八條 女子高等普通學校ハ生徒ノ身
體ノ發達及婦德ノ涵養ニ留意シテ之
ニ德育ヲ施シ女子ニ有用ナル普通ノ
知識技能ヲ授ケ國民タルノ性格ヲ養
成シ國語ニ熟達セシムルコトヲ目的
トス

第九條 女子高等普通學校ノ修業年限
ハ四年トス
女子高等普通學校ニ入學スルコトヲ

得ル者ハ修業年限六年ノ普通學校ヲ
卒業シタル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル
所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト
認メラレタル者トス
女子高等普通學校ニ補習科ヲ置クコ
トヲ得

補習科ノ修業年限及入學資格ニ關シ
テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル
第十條 入學資格ニ關シテハ修業年限
六年ノ普通學校ノ卒業若ハ尋常小學

校卒業者、普通學校高等科、第一學年
修了者及卒業者、各高等小學校第一
學年修了者及修業年限二年、高等小
學校、卒業者、高等普通學校卒業者、
中學校卒業者、女子高等普通學校卒業
者、ハ修業年限四年、高等女學校、卒
業者、ト看做ス

第十一條 實業教育ハ實業學校ニ依
ル但シ同令中文部大臣及地方長官ノ
職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

實業學校ノ設立ニ關シテハ朝鮮總督
ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 專門教育ハ專門學校令ニ大
學教育及其ノ豫備教育ハ大學令ニ依
ル但シ此等ノ勅令中文部大臣ノ職務
ハ朝鮮總督之ヲ行フ

專門學校ノ設立及大學豫科ノ教員ノ
資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所
ニ依ル

第十三條 師範教育ヲ爲ス學校ハ師範

學校トス

師範學校ハ特ニ徳性ノ涵養ニ力メ小
學校教員タルヘキ者及普通學校教員
タルヘキ者ヲ養成スルコトヲ目的ト
ス

第十四條 師範學校ニ第一部及第二部

ヲ置ク但シ特別ノ事情アル場合ニ於
テハ第一部又ハ第二部ノミヲ置クコ
トヲ得

第一部ニ於テハ小學校教員タルヘキ

者ヲ第二部ニ於テハ普通學校教員ヲ
ルヘキ者ヲ教育ス

第十五條 師範學校ノ修業年限ハ六年

トシ普通科五年演習科一年トス但シ
女子ニ在リテハ修業年限ヲ五年トシ
普通科ニ於テ一年ヲ短縮ス

第十六條 師範學校普通科ニ入學スル

コトヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シ
タル者又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依
リ之ト同等以上ノ學力アリト認めラ

レタル者トシ演習科ニ入學スルコト
ヲ得ル者ハ普通科ヲ修了シタル者中
學校若ハ高等女學校ヲ卒業シタル者
又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ト
同等以上ノ學力アリト認メラレタル
者トス

第十七條 師範學校ニハ特別ノ事情アル
場合ニ於テ特科ヲ置キ又ハ特科ノ
ミヲ置クコトヲ得

第十四條ノ規定ハ前項ノ特科ニ付之

ヲ準用ス

第十八條 特科ノ修業年限ハ三年又ハ
二年トス

特科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等
小學校ヲ卒業シタル者又ハ朝鮮總督
ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學
力カリト認メラレタル者トス但シ修
業年限二年ノ特科ニ入學スルコトヲ
得ル者ノ年齢ハ十五年以上タルコト
ヲ要ス

第十九條 師範學校ニ研究科又ハ講習科ヲ置クコトヲ得但シ研究科ハ特科ノミヲ置ク師範學校ニ於テハ之ヲ置クコトヲ得ス
研究科及講習科ノ修業年限及入學資格ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第二十條 師範學校ニ附屬ノ小學校及普通學校ヲ置ク但第一部ニミヲ置ク師範學校ニハ附屬小學校第二部ノミヲ置ク師

範學校ニハ附屬普通學校ノミヲ置クコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ公立小學校ヲ以テ附屬小學校ニ公立普通學校ヲ以テ附屬普通學校ニ代用スルコトヲ得

第二十一條 師範學校ハ官立又ハ公立トス
公立師範學校ハ道地方費ニ限り之ヲ設立スルコトヲ得

第二十二條

特別ノ事情アル場合ニ於

テハ官立ノ高等普通學校又ハ女子高

等普通學校ニ師範學校ノ第二部演習

科又ハ講習科ヲ附置スルコトヲ得

第二十三條ノ規定ハ前項ノ高等普通學

校及女子高等普通學校ニ付之ヲ準用

ス

第二十三條

普通學校、高等普通學校、女

子高等普通學校及師範學校ノ教科編

制、設備及授業料等ニ關シテハ朝鮮總

督ノ定ムル所ニ依ル

第二十四條

公立又ハ私立ノ普通學校、

高等普通學校及女子高等普通學校並

公立師範學校ノ設立及廢止ハ朝鮮總

督ノ認可ヲ受クハシ

第二十五條

特別ノ事情アル場合ニ於

テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ内地

人ハ普通學校、高等普通學校又ハ女子

高等普通學校ニ朝鮮人ハ小學校、中學

校又ハ高等女學校ニ入學スルコトヲ

得

第二十六條 本令ニ規定スルモ、ヲ除
ク、外私立學校、特殊ノ教育ヲ為ス學
校、其ノ他、教育施設ニ關シテハ朝鮮
總督ノ定ムル所ニ依ル

附則

第二十七條 本令施行ノ期日ハ朝鮮總
督之ヲ定ム

第二十八條 明治四十四年勅令第二百
二十九號朝鮮教育令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ

存スル小學校、中學校、高等女學校、普通
學校、高等普通學校、女子高等普通學校、
實業專修學校、簡易實業專修學校、實業
學校、官立ノ專門學校及師範學校ハ各
之ヲ本令ニ依リ設立シタル小學校、中
學校、高等女學校、普通學校、高等普通學
校、女子高等普通學校、實業學校、專門學
校及師範學校トス
前項ノ高等普通學校、女子高等普通學

校實業學校及專門學校ハ現ニ在學ス
ル生徒ニ付其ノ在學ノ間仍舊令ニ依
ルコトヲ得

第三十條 本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ存
スル高等普通學校ハ本令施行後二年
ヲ限り仍舊令ニ依ル補習科ヲ存置ス
ルコトヲ得

第三十一條 本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ
存スル官立ノ高等普通學校及女子高
等普通學校ハ本令施行後高等普通學

校ニ在リテハ四年女子高等普通學校
ニ在リテハ三年ヲ限り仍舊令ニ依ル
師範科ヲ存置スルコトヲ得

第三十二條 本令施行ノ際現ニ朝鮮ニ
存スル私立ノ專門學校ハ當分仍舊
令ニ依リ存續スルコトヲ得

臺灣教育令

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付

セラレムコトヲ請フ

大正十年十二月八日

内閣總理大臣子爵高橋是清

